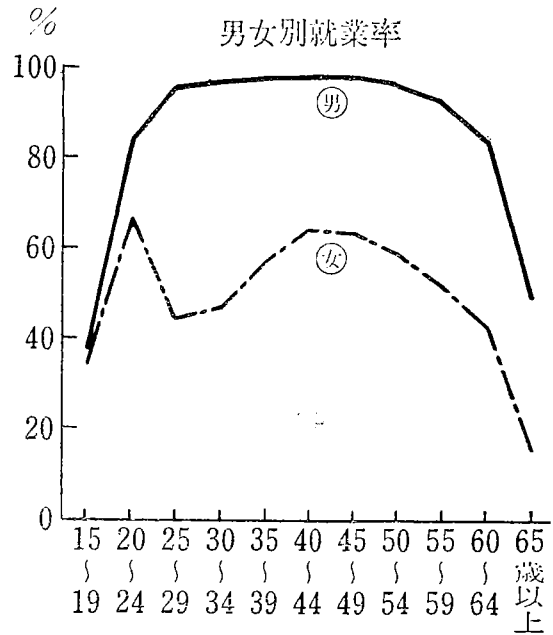


19. 労働力状態別人口と年齢階級別就業者数

昭和40年の15歳以上人口は200万人をこえ、労働力率は74.0%となり、前回の35年国調時の69.6%より4.4%高くなっている。

就業者数は131万人で、35年に比較し206千人の増加を示した。しかし就業率は65.5%と35年の68.8%に比べ3.3%の低下を示し、就業構造の変化を物語っている。

年齢別就業率は右図のとおりで、男は25～54歳までの間は96%以上の高率を示しているが、女は20～24歳がもっとも高く結婚による離職から25～29歳は急速に低下、30～44歳までは逐次高くなり45歳以上になると低下している。



昭和40年10月1日現在

労働力状態	15歳以上人口					
	総数	構成比	男	構成比	女	構成比
総数	2 000 430	100.0	986 927	100.0	1 013 503	100.0
労働力人口	1 326 891	66.3	823 746	83.5	503 145	49.6
就業者	1 311 572	65.5	812 880	82.4	498 692	49.2
完全失業者	15 319	0.8	10 866	1.1	4 453	0.4
非労働力	672 655	33.6	162 959	16.5	509 696	50.3
労働力状態不詳	884	0.1	222	0.0	662	0.1

年齢階級	15歳以上就業者数					
	就業者数			就業率 (%) (総人口に対する割合)		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	1 311 572	812 880	498 692	65.6	82.4	49.2
15～19歳	103 026	55 130	47 896	36.9	38.4	35.2
20～24	186 631	107 951	78 680	75.7	84.0	66.7
25～29	170 006	116 542	53 464	70.3	96.4	44.2
30～34	176 833	122 204	54 629	73.5	97.3	47.5
35～39	163 353	104 287	59 066	78.7	97.6	58.6
40～44	125 590	71 452	54 138	79.7	97.4	64.3
45～49	104 545	58 808	45 737	79.2	97.5	63.8
50～54	95 478	55 868	39 610	76.4	96.4	59.1
55～59	75 905	47 565	28 340	71.3	91.9	51.8
60～64	57 189	37 161	20 028	62.4	83.1	42.7
65歳以上	53 016	35 912	17 104	30.9	48.8	17.4